

くまもと未来

質疑 1 公債費管理会計の新設について

予算案に「公債費管理会計」として340億円余が計上されるとともに、特別会計条例と減債基金条例の一部改正案が上程されているが、この公債費管理会計とはなにか。また、これが新設された背景は？

質疑 2 一般会計から特別会計への繰出金について

繰出金の近年の増減状況はどのようになっているか？

質疑 3 市電旧型車両ステップ改良事業について

ステップ改良事業の内容と今後の利便性向上計画はどのようになっているか？

質疑 4 ICTを活用したまちづくり推進事業について

特定業者との提携は、公平な入札に影響を及ぼすのではないか。

質疑 5 「郷土読本」の活用方法と検証方法について

復活した読本を、教育現場でどのように活用し、その検証をするのか。

質疑 6 西回りバイパスについて

このバイパスは、本市の交通政策にとって必要不可欠である。1日も早い開通を求めるが市の考えは。

質疑 7 各種財政指標について

決算と対比した予算の各種財政指標と補助事業に対する本市負担見込額及び財源はどうなっているか。

質疑 8 行政サービス負担率設定と利用料金根拠について

市民に公開した指標による行政サービスの負担率決定が必要ではないか。

質疑 9 公共施設計画的な管理について

他都市節減事例による知恵を活用した予算の効率的運用について。

質疑 10 道路立会業務について

維持補修に対する予算査定減額の影響はどうか？ また、道路立会予算の今後の措置はどうなっているか。

市民連合

質疑 1 子ども虫歯予防対策事業について

虫歯予防対策事業としての、フッ化物洗口のモデル学校への導入は、安全性に問題があり反対。歯磨きや食生活の指導がより効果的である。

質疑 2 本庁舎エレベーター改修について

エレベーター改修に伴い、アスベストの除去作業も行われるが、工法の安全性について疑問がある。二重・三重の安全対策が必要であり、現工法の見直しを要望する。

質疑 3 食肉センターについて

食肉センターの廃止・移転について畜産センターへの移譲ができないまま推移し、今後の見通しは厳しい。移転・廃止ができない状況を想定しての施設の改修等の対策が必要である。

質疑 4 公園整備について

未整備となっている南公園建設を早急に進める必要がある。

質疑 5 交通問題について

「市のバスのあり方検討協議会」の総括を明確にすべき。市営バスの移譲だけが進んでいる。市民の足を確保するためには、バス会社は現行五社あり一社化が必要。

公明党

質疑 1 政令指定都市移行後の財源、財政構造、目的別予算配分について

本市の24年度の自主財源の比率は20政令都市で最下位であるので、もっと自主財源の確保に努めるべきである。サービス業など3次産業の比率が高い消費都市であるにもかかわらず商工費が低く十分な対策が必要。

質疑 2 全国型市場公募地方債について

IR活動(※11)に積極的に取り組み、成功させることが本市のイメージアップにつながり、ひいては企業誘致・観光などの面で大きなプラス効果が見込めるため、ぜひ市長自らのトップセールスに期待する。

質疑 3 事務事業外部評価会議の検証結果について

事務事業外部評価会議での外部委員の評価結果に対して、市がどう受け止め、今後の事業展開へ反映していくのか、市民の信頼を高めるためにも、市の考え方・スタンスを明確にすべきである。

共産党

質疑 1 中心市街地での駐輪場設置について

駐輪場有料化を機に廃止される歩道わきや公園内の便利な駐輪場は、無料のまま存続を。

新たに設置予定の風俗店に囲まれた駐輪場は、未成年者が利用せざるを得ない状況も考えられることから場所の見直しを。

質疑 2 大型再開発事業について

3000人規模の国際会議場建設は見直すべきではないか。

自由クラブ

質疑 1 国の提言を受け学校施設の非構造部材の耐震化について

児童の安全確保のために天井材など非構造部材の点検調査を強化し、適切な対応を図るべき。

教育委員会と危機管理部局が緊密に連携し、早急に学校施設利用計画を策定すべき。

※総括質疑の会派ごとの掲載スペースは、質疑の会派持ち時間により割り当てられています。

～締めくくり総括質疑から～

・熊本市消費生活条例案に関する問題点

条例案策定過程における検討懇話会委員や議会への説明のあり方、立ち入り調査・指導勧告等条例に盛り込むべき内容ならびに条例施行後の相談体制の確立について。

・政令指定都市移行に伴う留保財源(※12)活用対象事業

待機児童解消や認可外保育施設を利用する低所得者への助成拡充ならびに国保会計の累積赤字早期解消等への留保財源の活用について。

・政令指定都市初年度の予算と今後の見通し

大都市特有の財政需要に対応するための財政の長期見通しの設定、ならびに、MICE(※13)をはじめとする巨額投資を伴う事業のあり方について。

・男女共同参画社会の実現

女性農業者の能力がより発揮できるような環境整備(農業委員の市議会推薦の学識経験者としての取り扱い及び女性登用のあり方)に向けた取り組みについて。

平成24年第1回定例会の議決結果(会派)

議案番号・件名	会派別賛否							議決結果
	自民党	くまもと未来	市民連合	公明党	共産党	日本教育	自由クラブ	
議第1号 平成24年度熊本市一般会計予算	○	○	○	○	×	○	○	可決
議第23号 平成23年度熊本市一般会計補正予算	○	○	○	○	×	○	○	可決
議第62号 熊本市消費生活条例の制定について	○	○	○	○	×	○	○	可決
議第81号 熊本市動物の愛護及び管理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
議第91号 熊本市企業立地促進条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	○	可決
議第145号 工事請負契約締結について (熊本市新西部環境工場施設整備工事)	○	○	○	○	×	○	○	可決
発議4 政治倫理の確立のための熊本市議会議員の資産等の公開に関する条例の制定について	○	○	○	○	×	○	○	可決

可決された意見書・決議

発議第6号	地域主権改革による「国の出先機関廃止」の再検討を求める意見書について
発議第7号	父子家庭支援策の拡充を求める意見書について
発議第8号	こころの健康を守り推進する基本法の制定を求める意見書について
発議第9号	基礎自治体への円滑な権限移譲に向けた支援策の充実を求める意見書について
発議第10号	若者雇用をめぐるミスマッチ解消を求める意見書について



用語解説

※11 IR活動 Investor Relations (インベスターリレーションズ)。企業が株主や投資家に対し、投資判断に必要な情報を適時、公平、継続して提供して行く活動全般。

※12 留保財源 各地方公共団体で、独自の財政需要に充てられるべき財源

※13 MICE (マイス) Meeting (会議、研修、セミナー)・Incentive travel (インセンティブトラベル:企業報奨、研修旅行など)・Convention (コンベンション)・Event/Exhibition (イベント、展示会)の4つの頭文字をとった造語。ビジネストラベルの一形態。